

20191107 第120回 運輸の日

場 所：東神トラックステーション

配布数：49部

行動者：名張 徳亮（日新）

数見 秀樹（ヤマト運輸 神奈川）

井上 隆雄（ヤマト運輸 神奈川）



運輸労連は、本日『組織拡大全国統一行動日』と位置づけ、全国各地にて運輸労連の仲間が様々な行動を展開している。神奈川県連は、『運輸の日』として、東神トラックステーションにて3日目の行動になりました。本日は、3人での行動！『全国統一行動』という事で、本部より浅井氏・小坂氏が応援に駆けつけていただきました。

東神トラックステーションは、隣接するBBQ施設や会社、更には住宅地にも近く、エンジンの音や、ゴミの投げ捨て、悪臭が漂い環境問題になっていることから、全日本トラック協会へ改善要請をしていますが、周りの緑地帯にはゴミだらけ、すぐそばにゴミ箱が新設されても、ポイ捨て状態は変わらない。こんな状況を自身の感覚で現状を知っていただくために、本部にお越しいただきました。

神奈川県唯一のトラックドライバー休息・休憩施設ですので、施設内はもとより近隣の方に迷惑をかけないようにと進言していただきたい。

さて、本日は昨日同様に、『トラックの計画運休』について、ドライバーの方から意見をいただ来ました。

ドライバーの声

○この業界は、中々難しいのかな。うちの会社だけ着かないとなったら仕事がなくなるのでは？

○怖い思いをしたことがあるので、計画運休は有った方がいい。でも、長距離輸送はどこで停まっていればいいのか？わからないので、結局、ドライバー任せになってしまうのでは？

行動者の感想



名張:今日は気持ちの良い秋晴れのなか、「ブラック企業をぶっ潰せ」をキャッチコピーに、神奈川県連恒例の運輸の日に参加しました。

異常気象がもはや異常ではなく、いずれ来るものと備えておくことが重要となっている昨今、電鉄会社においては計画運休として電車を止めてしまうことが評価されています。

一方、私たちが働く運輸産業では、理解の無い荷主が悪いのか、その荷主にシッカリと説明が出来ない私たちが悪いのか、計画運休というものが定着していません。

今回、ドライバーからも強風の中の運転することがどんだけ怖いことか分かるか！？といった声も上がりました。

私たちが働く環境を良くするためにも、私たちが置かれている環境を幅広く知ってもらう必要があります。

そのためにも、広報活動の充実を運輸労連として取り組んでいただきたいと思います。



数見:本日はいつもより地方ナンバーの大型トラックが多いと感じた。

会社からの運行中止が無いが台風の進路を避けて走れば良いのではとの意見が数多くでした。

トラックステーションで休憩しているトラックは路線便でない会社が多いため運行経路が自由に変更できる答えなのかもしれない。

しかし、全てのドライバーさんは台風の影響下での運行はやりたくないとの意見であった。

安全第一を考えて考えなくてはならない課題でえらと思う。



井上:運輸業界では計画運休はまだまだ認識されてませんね。自信持って有りと答えてくれた方は一人だけでした、荷主さんも大手企業なので情報に合わせた運行をするとの事でした。たまたま台風の日にかトラステまでたどり着いたが身動き出来なくなり、習志野まで何とか電車で帰り翌日また出直したそうです。

危険回避の意識は高まっていますよね！